

平成21年度 シラバス	学年・期間・区分	5年次・前期・B群
	対象学科・専攻	土木工学科
施工学 (Execution of construction works)	担当教員	前野 祐二 (Maeno, Yuji)
	教員室	専攻科棟1階 (Tel. 42.9118)
	E-Mail	maeno@kagoshima-ct.ac.jp
教育形態 / 単位の種別 / 単位数	講義 / 学修単位[講義] / 1単位	
週あたりの学習時間と回数	〔授業 (50分) + 自学自習 (100分)〕 × 18回	
〔本科目の目標〕 土木工事の種類・施工方法を学ぶとともに、具体的な工種（コンクリート工、トンネル）の施工方法、適用性、施工順序、環境に与える影響、施工機械、土木材料などを理解する。さらに工事の管理に必要な施工管理の手法を理解する		
〔本科目の位置付け〕 土木材料・力学の予備知識が必要し、専門基礎科目のまとめになる。また、本科目が土木工事施工管理の基礎となる		
〔学習上の留意点〕 講義の内容は、実際の土木工事に近いので、特殊な土木用語が頻出する。そこで、本講義では講義開始に小テストをおこない、先週の復習をおこなうので、復習の徹底をすること		
〔授業の内容〕		
授 業 項 目	時限数	授 業 項 目 に 対 す る 達 成 目 標
1．コンクリート工	2	コンクリート用語の復習とコンクリートの基礎知識が説明できる
2．コンクリートの施工	2	コンクリート工の施工方法の概説が説明できる
3．コンクリート工の問題点	2	コンクリート工に使用する機械の概説、コンクリート工の剥落やアルカリ骨材反応、中性化の問題点と概説が説明できる
---前期中間試験---	1	授業項目2～4について達成度を確認する
4．トンネル工	3	トンネルの概説と種類が説明できる トンネル工の施工機械が説明できる NATM工法、シールド工法の概説が説明できる
5．工程管理	3	沈埋工法の概説が説明できる 施工管理の概説と施工管理に必要な工程表の概説が説明できる
6．ネットワーク	3	ネットワーク手法による管理方法、ネットワークの計算方法が説明できる ネットワーク演習が解ける
---前期期末試験---	2	授業項目5～6について達成度を確認する。
試験答案の返却・解説		各試験において間違った部分を理解できる
〔教科書〕 〔教科書なし〕		
〔参考書・補助教材〕 土木施工 伊勢田 哲也 朝倉書店 土木施工概論 技法堂出版、土木施工 森北出版		
〔成績評価の基準〕 中間試験および期末試験成績 (50%) + 小テスト (50%) - 授業態度 (上限20%)		
〔本科(準学士課程)の学習教育目標との関連〕 3-c		
〔教育プログラムの学習・教育目標との関連〕 3-3		
〔JABEEとの関連〕 (d)(2)d)		